5/16・17 全日本マスターズレガッタ開催

日本ボート協会が主催する全日本マスターズレガッタの第８回大会が、尾原ダムのさくらおろち湖を会場に、５月16日と17日の２日間の日程で開催されました。

同湖で全国規模の大会が開かれるのは初めてで、来年夏に開催される予定の全国高校総体のボート競技のリハーサル大会として誘致されました。

全国各地から約１２００人が参加し、また今年は国内だけでなく、初めてオーストラリアからのエントリーもありました。

チームメイトを応援する選手たち

力いっぱいオールを漕ぎゴールを目指す（混成ダブルスカル）

競技は年齢ごとに10段階のカテゴリーに分けられ、８人の漕手と１人の舵手の９人が乗るエイトや、４人で漕ぐフォア、クォドルプルなど６種目、全１０４レースが行われました。

選手たちは、息の合ったオールさばきでゴールを目指し、白熱したレースとなりました。

また、16日の夜には懇親会が開かれ、出場者は日頃の練習の成果を競うだけでなく、全国の漕友との交流を深めました。

5/30 一味同心塾で田植え交流会

阿井地区の一味同心塾前の水田で５月30日、昔ながらの手植えを体験する田植え交流会があり、町内外から２００人を超える人が参加しました。

この体験交流会は、地元「米づくり委員会」の主催で、都市住民との交流や食の安全について考えようと毎年開催されており、今年で14回目となります。今年は仁多米を通じて交流のある業者など、東京、神奈川、広島からも参加がありました。

田植え体験をする参加者たち

はじめに神事が行われ、田の神「サンバイさん」に豊作を祈願した後、真地自治会の「内谷田植え囃子保存会」による華やかな田植え囃子が披露されました。

中村成子館長は「多くの方々の協力で今日を迎えることができた。この田んぼが実りの時期を迎えるまで、毎日育むことを喜びとしたい」と話されました。

続いて、参加者が田植えに挑戦しました。今年も島根リハビリテーション学院の１年生が参加し、賑やかに田植えが行われました。

内谷田植え囃子保存会による演奏

5/30 長野県飯島町と友好交流会

戦国武将三沢氏の祖である飯島氏の発祥の地、長野県の飯島町から箕浦税夫副町長、飯島家29代当主の飯島紘氏らを招いての友好交流会が、５月30日に要害山三沢城跡保存会（田部英年会長）の主催で、玉峰山荘を会場に開催されました。

交流会には、島根県議会の絲原徳康議長、勝田町長など関係者約１２０人が出席しました。

田部会長からは「今の我々があるのも約７００年前に飯島氏が遠い信州からおいでになったおかげ。コツコツと農地を開拓し、また戦国時代の乱世においてもこの地では一度も戦いが無く、農民が平和に暮らすことができたご恩を、少しでも後世に伝えたい」とお礼が述べられました。

会では、はるか昔の縁により、現代の世代での交流が図られるということにロマンを感じながら、飯島町の皆さんとの親ぼくを深めました。また、深田英治一座による安来節やどじょうすくいなどが披露され、会場を沸かせました。

記念品を交換し、握手を交わす箕浦副町長（右）と勝田町長

◆飯島氏と三沢氏

飯島氏は、信州飯島郷に居を構える清和源氏で、今から７９０年前、承久の乱に幕府方として活躍し、雲州三沢郷を恩賞として受領しました。

はじめは代官を派遣していましたが、１３０２年（乾元元年）に飯島一族為長（為仲）が新補地頭として三沢庄へ来往し、戦国武将三沢氏として「三沢城、藤ケ瀬城、亀嵩城」を築いて出雲国内最強の国人武将として活躍しました。

また、内にあっては一族と領民が協力して「野たたら製鉄」により農地の開拓と民生をはかり、領内を２８０年余にわたり平穏無事に守り抜きました。

5/31 三沢の要害山で山城祭

三沢地区にある要害山で５月31日、戦国武将三沢氏の遺徳を偲ぶとともに、登山者の安全と地域の発展を祈願する山城祭が、三沢城跡保存会の主催で行われました。

三沢小学校児童や三沢幼児園園児、地区の保存会の皆さんなど１００人を超える人が参加し、手作りの甲冑（かっちゅう）を身にまとい、みざわの館から山頂まで、ほら貝や太鼓の音を響かせながら武者行列を披露しました。

山頂では、児童たちにより戦の出陣式である「三献（さんこん）の儀」が行われ、「敵を打ちとって、勝ち喜ぶ」を意味する、打ち鮑（生アワビを叩いて延ばし干したもの）、勝ち栗（干しグリ）、昆布（干したコンブ）が大将に献上されました。

「いざ、出陣じゃ。えい、えい、えい」「おー、おー、おー」と元気のよい掛け声が上がると、集まった地元関係者や保護者など約１５０人から大きな拍手が送られました。

またこの日は、長野県飯島町から三沢氏の祖である飯島氏の末裔（まつえい）で29代当主の飯島紘氏や箕浦副町長らも訪れ、賑やかに行われました。

飯島町からの参加者をお茶でおもてなし

「いざ、出陣じゃ。えいえいおー！」